

# 風水害に

## 備える

毎年、日本各地で台風や大雨による災害が発生し、尊い命が失われています。市内でも、豪雨による土砂崩れの災害が発生しています。過去の災害からの教訓を踏まえ、風水害に備えましょう。

### 台風が来る前に

台風は、発生から接近まで時間的な余裕があります。台風の接近時に被害を最小限に抑えるため、テレビやラジオなどの気象情報に注意しましょう。

### 突然の集中豪雨

集中豪雨とは、短時間に狭い範囲に集中して降る大量の雨のことです。集中豪雨は、狭い範囲に限られ、突発的に降るため、予測が困難です。気象情報や現在の状況から判断し、行動することが重要です。

## POINT

### 集中豪雨の危険性について

- ◆短時間で危険な水位に  
河川や溪流、用水路などは、周囲からも激しい雨が流れ込むことにより、数分で危険な状態になることがあります。
- ◆気象注意報や警報が出なくても注意  
注意報や警報が出ない雨でも、災害発生の恐れがあります。
- ◆離れた場所でも注意  
自分がいる場所で強い雨が降っていなくても、上流で降った雨が流れてくることで危険な状態になることがあります。

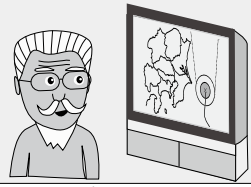
### 外出時にこのような前兆現象を確認したらすぐに避難

- ◆川の近くで周囲の空が暗くなる
- ◆雷鳴や稲妻を確認
- ◆冷たい風が吹き出す
- ◆大粒の雨やひょうが降り出す

## 市の防災情報伝達手段

### 屋内

#### とちぎテレビ



#### 携帯電話

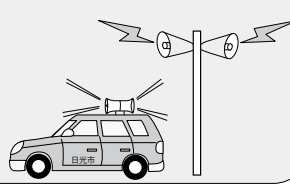


### 屋外

#### 携帯電話



#### 防災行政無線・広報車



◆とちぎテレビデータ放送  
チャンネルをとちぎテレビに合わせ、リモコンの「d」ボタンを押せば、データ放送を見ることが出来ます。災害時に避難勧告などの緊急情報を配信しています。

◆緊急情報エリアメールなどの配信  
市は、緊急情報メール配信システムを導入しています。災害などの緊急時に、土砂災害警戒情報などの災害・避難情報を、市内のエリアにあるNTTドコモ、ソフトバンク、auの携帯電話に、一斉配信することが出来ます。

◆市防災メール配信サービス  
市は、市内における地震や気象などの情報を、市民の皆さんへ伝える手段として、メール配信サービスを行っています。(通信料などは登録者負担です)

●配信内容  
○地震情報(震度3以上)  
○気象警報  
○災害関連情報(避難情報など)  
※下のQRコードから登録できます。  
※詳しくは、市ホームページをご覧ください。なお、災害時には市ホームページにも情報を掲載します。



QRコード

## 雨量・風速に関する豆知識

### ◆雨量と災害の関係

1時間雨量	予報用語	予想される被害など
10mm以上 20mm未満	やや強い雨	長く続くときは注意が必要
20mm以上 30mm未満	強い雨	側溝や下水、小さな川が溢れ、小規模のがけ崩れが始まる
30mm以上 50mm未満	激しい雨	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水が溢れる
50mm以上 80mm未満	非常に激しい雨	マンホールから水が噴出する。土石流が起きやすい。多くの災害が発生
80mm以上	猛烈な雨	雨による大規模な災害発生の恐れが強く、厳重な警戒が必要

### ◆風速と災害の関係

平均秒速	予報用語	人への影響	予想される被害など
10m以上 15m未満	やや強い風	風に向かって歩きにくい	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める
15m以上 20m未満	強い風	風に向かって歩けない。転倒する人もいる	ビニールハウスが壊れ始める
20m以上 25m未満	非常に強い風(暴風)	しっかりと身体を確保しなると転倒する	鋼鉄シャッターが崩れ始める。風で飛ばされた物でガラスが割れる
25m以上 30m未満		立っていない。屋外での行動は危険	ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外装材がはがれ飛び始める
30m以上	猛烈な風		屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まったりする

### 土砂災害の現象と前ぶれ

- ①地すべり
- 現象  
○粘土などの滑りやすい層を境に、その上の土がそっくり動きだす。



- 前ぶれ  
○地面にひび割れができる。  
○地面の一部が陥没する。  
○沢や井戸の水が濁る。  
○がけや斜面から水が出る。
- ②崖崩れ
- 現象  
○突然斜面が崩れ落ちる。



- 前ぶれ  
○崖から水が湧いてくる。  
○崖にひび割れができる。  
○小石がバラバラと落ちてくる。
- ③土石流
- 現象  
○土砂と水が一体になって流れ落ちる。「山津波」や「鉄砲水」などとも呼ばれる。



- 前ぶれ  
○山鳴りや木立の裂けるような音、ドンというような音がする。  
○雨が降り続けているのに、川の水が急激に減る。  
○川の水が濁ったり、倒木が流れてきたりする。

### 雨量情報・河川水位情報について

県のシステムを利用して、雨量情報や河川水位情報を得られます。

台風や集中豪雨などの際には、早めに情報を収集して対策を立てましょう。

- 得られる情報  
○市内の雨量や河川の水位などに関する情報

●電話番号(自動音声案内)  
(53) 2147・2148・2149  
※市全域の情報です。  
※通話は有料です。

くわしくは  
総務課  
危機管理放射能対策室

☎(21) 5166